

日本海中部地震から40年 地域防災力の向上へ
『防災パネル展』を開催します

昭和58年、秋田県沖の西方を震源とするマグニチュード7.7の大地震が発生。地震や津波により、秋田県では約350人の死傷者、約3,500戸の家屋被害など甚大な被害が発生しております。また、米代川の堤防や護岸、国道7号といった社会基盤施設においても数多くの被害が生じました。

その日本海中部地震から、今年で40年の節目を迎えます。

また、近年の異常気象により全国各地で大雨による甚大な洪水被害が毎年のように発生しています。米代川流域においても令和4年8月に洪水被害が発生するなど、住民一人一人の地震や洪水に対する防災意識の向上が求められております。

そのため、能代河川国道事務所、秋田地方气象台、能代市が連携し、日本海中部地震における被害の状況を中心に、現在の地震に関する情報の発信、洪水被害を軽減するための取り組み等を紹介し、防災意識の啓発を行うことを目的として『防災パネル展』を開催いたします。

- 開催場所 : イオンタウン能代（ヤマダ電機前通路）
- 開催時期 : 令和5年 5月23日（火） ～ 6月11日（日）
- 展示内容 : パネル 日本海中部地震被害写真
地震に関する情報発信の取り組み
流域治水の取り組み など
- 共 催 : 国土交通省 東北地方整備局 能代河川国道事務所
国土交通省 気象庁 秋田地方气象台
能代市

<発表記者会：秋田県政記者会・能代市記者クラブ・北秋田市記者クラブ・大館市記者クラブ>

問 い 合 わ せ 先

国土交通省東北地方整備局 能代河川国道事務所
秋田県能代市臈瀨字一本柳97-1 TEL 0185-70-1001（代表）

副所長（河川） おやまだ 小山田 ひとし 等（内線204）
流域治水課長 ほそかわ 細川 とも 朋（内線351）

【日本海中部地震】

昭和58年(1983年) 5月26日 男鹿半島沖から津軽海峡の西側にかけての広い範囲を震源域として発生したマグニチュード7.7の大地震。

日本海沿岸では広範囲で津波が発生。津波の最大高は震源に近い秋田県三種町で6.6mが記録されております。

この地震や津波により、全国で104人の方が亡くなり、このうち100人が津波によるものでした。このほか、負傷者324人、建物の全壊・流出1,584棟、半壊3,515棟、船舶被害2,598隻など甚大な被害となっております。

詳しくは秋田地方気象台 日本海中部地震のページをご覧ください。

https://www.jma-net.go.jp/akita/data/saigai/saigai_tyubu.html



能代市中島地区 堤防被災状況



能代市落合地区堤防被災状況



一般国道7号 堤防被災状況



津波から避難する人(旧 能代工事事務所前)